



令和 8 年 3 月 19 日(木)  
静岡 大学 教育 学部  
附 属 静 岡 小 学 校  
2 年 学 年 だ よ り 年 度 末 号

## 「もっとみんなでつながろうよ!」 「私たちが“つながり”だけどさ…」

2年生が始まって2ヶ月目の6月、キャプテンを中心に自分たちだけでプール開きの内容を決める話し合いの時間がありました。今回が話し合いのできる最後の1時間だということは全員が理解していたはずでした。しかし、誰かを注意する声が大きくなり、本来する予定だった話が進まないといった状況が生まれたことがありました。みんなが同じ熱量をもって、同じ目的に向かうことの難しさを実感するとともに、先生がいなくてこうなってしまうんだ…と自分たちの協力体制の弱さを実感した時間でもあったと思います。進行をしていたキャプテンも落胆し、中には泣いている子、怒っている子もいるような重くギスギスとした空気が教室に漂っていました。そんな時、キャプテンの一人が「**つながりなのに、今のみんなはつながれていないよ、だからもっとみんなでつながろうよ**」と力強く思いを投げかけたのです。自分たちが“つながり”を大切にして生活を共にする集団であることに立ち返り、目指す姿は“みんなでつながる（心と力を合わせて向き合う）”ことであるというこのキャプテンの主張は、私だけでなく多くの子どもたちの心を揺さぶり、原点回帰させられるいい機会となりました。この1年間、他の授業においても、自分たちが“つながり”を共通テーマに掲げ生活をしている仲間であるからこそ、“つながり”が大切な共通ワードとして取り上げられ、問いになっている事柄と自分たち“つながり”を結び付けて考える場面に多く出合いました。例えば、外国と文化を交流することのよさを扱った道徳の授業では、「**私たちがみたいに**、外国と日本も文化を通してつながっているんだね」と他国とつながることの良さを、自分たち“つながり”に例えて考えたり、国語の『スーホと白い馬』では、「**私たちが“つながり”**だけど、人々は、スーホの気持ちや白馬の魂がのった馬頭琴の音色でつながっているんじゃないかな」と語ったりする子どもの姿がありました。このような子どもたちの姿に出合う度に、学年名“つながり”に込められた想いが、子どもたちの心根にしっかりと宿っていること、そして一人一人が“つながり”の一員であることに誇りをもって学校生活を送っているのだということに、心を動かされてきました。附属小で過ごす今後4年間も、この“つながり”に様々な経験や感情が加わり、太く深い“つながり”を、そしてこの仲間にししか結ぶことのできない“つながり”を築き上げて行ってほしいと願っています。“つながり”の子どもたち、そして保護者の皆様と過ごしたこの1年間は、私たちにとても大変素敵な出会いの連続でした。たくさんのご協力をいただき、心から感謝しています。1年間、ありがとうございました。

## <2年部の先生から“つながり”のみんなへメッセージ>

【1組 下出 菜摘】楽しい1年間をありがとう!

つ “つながり”のみんなの、明るくて優しく、友達おもしろいところ  
な なんでもチャレンジして、自分の力を高めようとするところも素敵!  
が がんばって、いろいろなことを、みんなで乗り越えた1年だったね!  
り りっぱな3年生になる準備は整ったかな?  
大 大好きな“つながり”一人一人の、4月からの新しい  
す スタートも応援しています♪  
き きっと、大丈夫!『想いあえる 信じあえる 仲間がいるよ』

【2組 茂津目 遼】

「親愛なる『つながり』のみんな」  
明るく、笑顔が素敵で、ポジティブなみんなと1年間一緒に学ぶ  
ことができ、とても楽しかったよ。たくさんの方に挑戦し、  
仲間支え合いながら大きく成長したね。来年からは3年生!  
これからも友達の『つながり』を大切にしながら元気いっぱい  
に過ごしてね! 1年間一緒に過ごしてくれてありがとう。これか  
らも応援しているよ!『君の一番の応援リーダー りょうくん』

【3組 住田 亮】(まじめな方のりょう先生より)

1年間ありがとう!みんなと明るく元気に過ごすことができ  
とても楽しかったです。2年生の1年間で多くのことにチャレ  
ンジしたね。その中には、上手くいったことも、上手くないこと  
もありましたね。また、自分自身で努力したことや仲間と協力  
したこともありましたね。2年生でのいろいろなチャレンジはき  
っとみんなのこれからに「つながる」と思います。3年生でも頑  
張ってね!ずっと応援しているよ!

